

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第38号

## ななえ古写真物語

VOL. 38

### 冬の仕事

～ 峠下地区客土作業風景～

昭和25年頃

峠下地区



nanae historical  
museum collection

七飯町では、約500年以上前から和人が入植し、村々を切り開いていたといわれ、古くは大川や本町周辺が、そして、江戸時代の後半には峠下や藤城、鶴野など、現在も地名として存在する地域が創業していったといわれます。

その頃の人々の生活は、農業や山稼ぎ（炭焼きやきこりなど）を生業にしていたといわれ、今とは異なり車のない時代ですから、畑作業は、物資の運搬には馬や牛の助力が必須だったことが想像でき、町内に数多く残されている馬頭観音の石碑などが、そういった歴史を物語っています。

また、入植当時に限らず、本格的に自家用車が普及しはじめる昭和30年代までの人々の生活には、馬がなくては、成り立たなかつたろうと思われまふ。それは、当館にも収蔵されている木材搬出用の大型ソリ「バチバチ櫓」やスキーに台をつけた様な「櫓の台」などが、馬に引かせることを前提に作成されていることから想像できます。

当時のななえでは、農閑期となる冬の仕事として、炭焼きや木材の伐採をしていたようで、炭は函館や近郊の人々の燃料として販売されていました。

こういった「冬の仕事」の写真を・・・と考え、今回は当館の常設展示室にも掲示している一枚を紹介したいと思い、上の写真を用意しました。

写真を見てみますと、煙草をくわえた雰囲気のある男性が、防寒具に前掛けを下げ、耳あてのついた帽子をかぶっています。右手には、何か棒のようなものを持ち、前にいるソリを引く馬を見ている姿が伺えます。辺りや遠くの山が真っ白に染まっていることから冬の作業であることは間違いありません。

当館の記録では、この写真は、峠下地区で行われていた客土作業の様子を昭和25年頃に撮影したものと記されています。恐らくは、ソリが使える冬のうちに山などから黒土を運び出し、田んぼや畑に運んでいるのでしょう。もう一度写真を見直して見ますと、手前のソリの横には、木の棒が立てられ、横方向に長い板が、つい立のように並べられています。これは、木材というより、こぼれやすい土をたくさん運ぶための工夫と考えられます。

ほんの60年前の風景でも、今では、あまり見られなくなった「冬の仕事」の様子を伝える貴重な一枚の紹介でした。

12日



講座の様子



貴重な資料が間近で見れます!

夜の博物館の第2回目講座「ななえ地名考」を開催しました。この日は、参加人数が多かった為、文化センターの会議室での講座となりました。

現在も使われている七飯町の地名の由来や、今では、使われなくなった地名の歴史などを学芸員が解説。合併によって生まれた名前や、アイヌ語から転かした名前など・・・。普段聞きなれている地名にかくされたいわれを知り、改めて、七飯町の奥深さを感じたようでした。

29日

1月のジュニア探検クラブは「たこあげに挑戦!」と題して、竹の骨と障子紙を使い、五角形の和凧を作りました。まずは、障子紙をのりしろを残して、五角形に切り取り、それに絵を描きます。干支にちなんで、うさぎの絵を描いたり、某ゲームに登場するモンスターを描く子がいたり(これが、リアルで上手かった!)、個性的な絵柄がたくさん!見ていても楽しかったです。

次に、竹の骨を計って切り、強力な両面テープを使って、紙にはり付けていきます。ベタベタするテープに苦労しながら、ようやく完成。あとは、糸をつけて飛ばすだけ・・・のはずが、終わりの時間になり、皆で凧あげをする時間はありませんでした。凧作りはむずかしかったかな?

時間が足りない!



竹が硬かったー



飛ばしたかったね...

## 常設展示室に雛飾りを展示しています

当館資料でもある、古い雛人形を友の会の方々が、常設展示室の民家のところに飾ってくれています。古いものは、明治時代、そして、昭和初期のものなど、3組の雛人形を展示しています。

特に、明治時代の人形は、精巧な作りで、味わいがあると思います。

3月3日まで展示していますので、近くまでお越しの際には、是非お立ち寄り頂ければ幸いです。



つるしびなも展示しています



## 3月の予定

1	火
2	水 夜の博物館
3	木
4	金
5	土 パネル展OPEN予定
6	日 冬の探鳥会
7	月
8	火
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日
14	月
15	火
16	水
17	木
18	金
19	土 ジュニア探検クラブ
20	日
21	月 春分の日
22	火
23	水
24	木
25	金
26	土
27	日
28	月
29	火
30	水
31	木

定員:20名(先着順)  
現地集合・解散  
要 電話申込  
詳しくは歴史館まで

3月の休館日はありません。

### 資料整理継続中!

現在、当館資料のデータベース化に向け、再整理を行なっています。ところが、こんな資料もあったのか・・・と驚きの毎日、いったいいつまでかかるのやら(Y)



### 編集後記 ~tawagoto~

先日、当館のホームページを見ていた方から、このピチャリに役立てて欲しいと、明治~昭和初期の大沼公園の絵葉書を拝見させていただきました。さっそく、お願いしてスキャニングをしているが、お借りした絵葉書には、私の知らない建物などが多々写っていた。いやはや、まだまだ勉強が足りないと思うと同時に、大沼の奥深さを改めて実感した。提供してくれた方には心から感謝します。近々、この紙面でご紹介します。(やまだひさし)

ピチャリ ~ピチャリ~ 第38号

平成23年2月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp